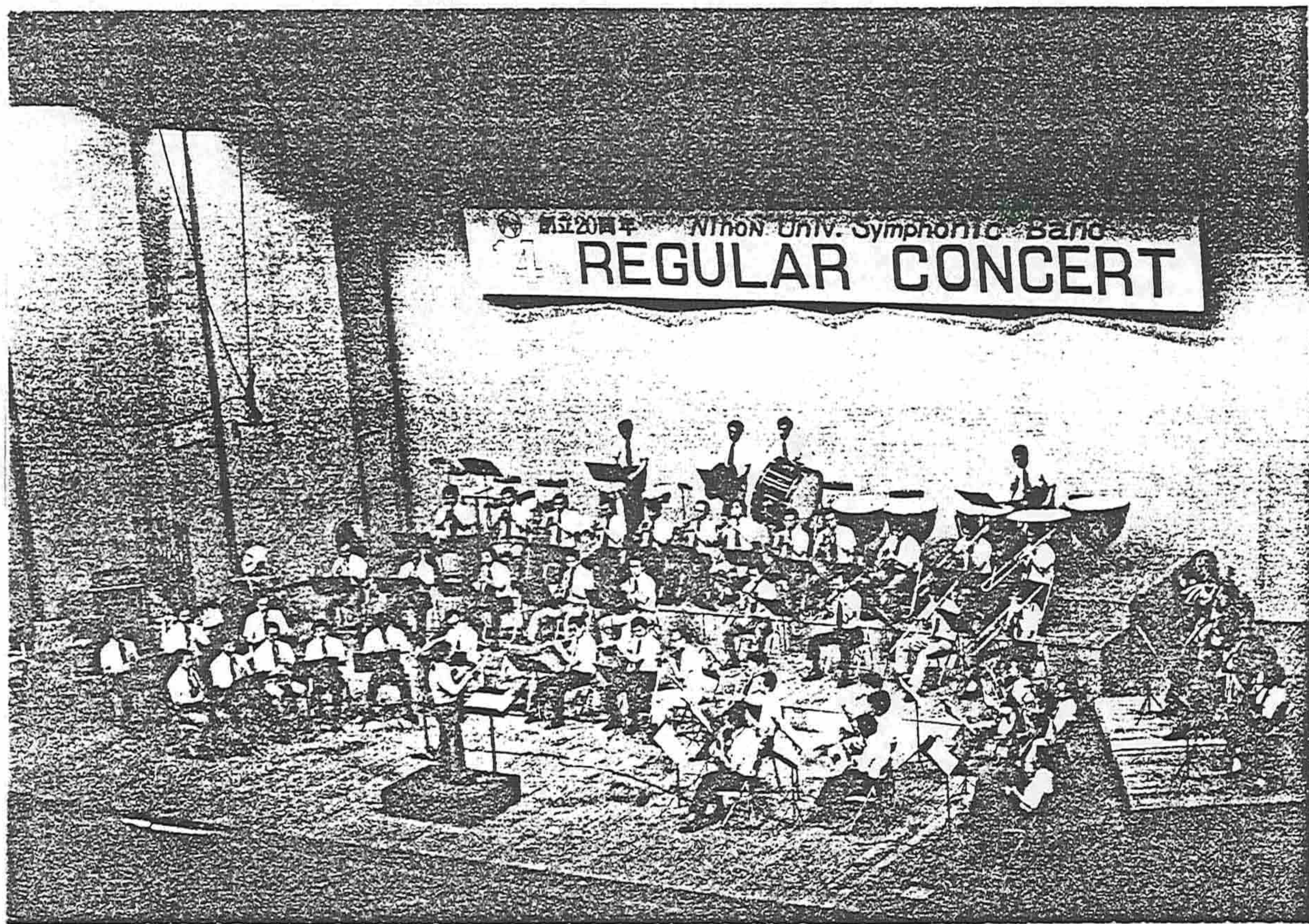


ふるすこあ

発行責任者
鳥井宏晏
東京都文京区千石
1-1-9
編集責任者
森宮延信
平方朝彦



創立二〇周年記念 第十四回定期演奏会

開かれる

創立二〇周年記念・第十四回定期演奏会が六月二十二日(土)六時から新宿厚生年金会館大ホールで開かれた。
何年か前から話題になっていた二〇周年ではあったが、はたして期待通りのものであったのだろうか。

第二部のOBバンドのステージを企画、構成、演出するために楽器に親しむ会をはじめ、OB諸氏の協力と涙ぐましい努力があり、在京OBを中心に遠く北海道から駆けつけたOBを含めて五十三名のバンドを編成することが出来た。

第一部 ステージ演奏
指揮 小林 登

○ジャニアリー・フェブラリー・マーチ
○プリモス・ロック
○ティンパット

指揮 黒川真一
○ブロードウェイ・カーテンタイム

第二部 OB演奏

指揮 松本秀喜
○ラッパ吹きの休日
○軽騎兵序曲
○あなた

第三部 ドリル
DM 近藤 茂

指揮 長島光雄
○ザ・トラッパ

現役・バトン・OB

開かれる

定期演奏会の反省会が七月四日(木)六時より日大講堂で開かれた。現役からは、幹部と三年生(バンドも含む)、OB会から役員・幹事の二十三名が集った。小熊会長の音頭で乾杯、反省会に移り、各幹部から反省や問題点が提起された。

主な内容として、定演開催の時期(演奏の仕上り等)、なぜ六月下旬から七月上旬に行なわれるかという経過説明、入場料を取ってどの程度満足してもらったのか、選曲ドリル等、相当突込んだ話し合いがなされた。

この反省会に三年生を加えたのは、どうも幹部交代時に定演の反省等が伝えられてないようなので、今からその内容を知ることによって来年はより優れた定演になるのではないかと、佐藤監督から、本来なら佐藤監督にも加わっていただき、ナマの声を聞いてほしいといったのだが、都合で出席されず非常に残念であった。これからのこのようなOB・現役の意見交換の場を持つことを約して閉会になった。

第四部 演奏
指揮 小林 登

○007のすべて
○コンサータンテ・フォンアンソ・パーカッション
○アメリカン・パリエーション
○ファンファーレとアレグロ

尚、演奏会に来られなかったOBには、会報と一緒にプログラムを同封いたしました。

※写真は第二部OBバンド、軽騎兵序曲、指揮長島光雄

合同反省会

例年になく盛況のうちに終る

昭和49年度総会

開かれる

OB会の昭和四十九年度総会が六月二日(日)日本大学講堂で開かれた。今年は大ブラス創立二〇周年という記念すべき年でもあり、昨年発足した、楽器に親しむ会の練習も兼ねて例年になく盛況であった。OBバンドの練習もあったので、会場である第五控室もいっぱいになり活発な意見の交換がなされた。

総会の詳しい内容については省略するが、議事進行は次の通りであった。

49年度OB会総会

司会 佐藤 宏
議長 大沢和彦

○四八年度事業報告
事務局 平方朝彦

○四八年度会計報告
会計 柴戸英一

○四八年度会計監査報告
会計監査 鈴木康友

○四九年度事業計画
事務局 平方朝彦

○四九年度予算案
会計 柴戸英一

役員幹事の改選

(その他の議案)

○四九年度年会費の件
四九年度については従来の二千円とし、年度中に郵便料金等の改訂があった場合には検討をする。

総会の議案ではないが報告事項として、会費の二年間滞能者(五月二十七日現在四十五名)が公表され、不本意ながら除籍することを報告し、幹事会に一任する旨の了承をもらう。

尚、48年度の決算報告をもつて除籍者へのサーピスを打切ることにする。

昭和49年度役員幹事

名譽会長 佐藤力男
会長 小熊朝秀
副会長 前田敏晴
参事 高橋 寿
幹事 森宮延信
副幹事 小野博美
事務局 平方朝彦

会計 柴戸英一
監査 鈴木康友
監査 島井宏晏
監査 土岐悦康
監査 佐藤 宏
監査 中山久仁彦
監査 村田 浩
監査 小林将夫
監査 大沢和彦
監査 山崎英司
監査 長島光雄
監査 東郷桂治郎
監査 鈴木 徹
監査 土肥正晴
監査 会津洋一
監査 松本耕一
監査 森 督治
監査 古田 収
監査 井関 恭介

48卒 48卒 48卒 47卒 46卒 45卒 45卒 44卒 43卒 42卒

40卒 38卒 38卒 37卒 32卒 32卒 32卒 32卒 32卒 32卒

48卒 48卒 48卒 47卒 46卒 45卒 45卒 44卒 43卒 42卒

